

YACかわら版596

2025年7月1日

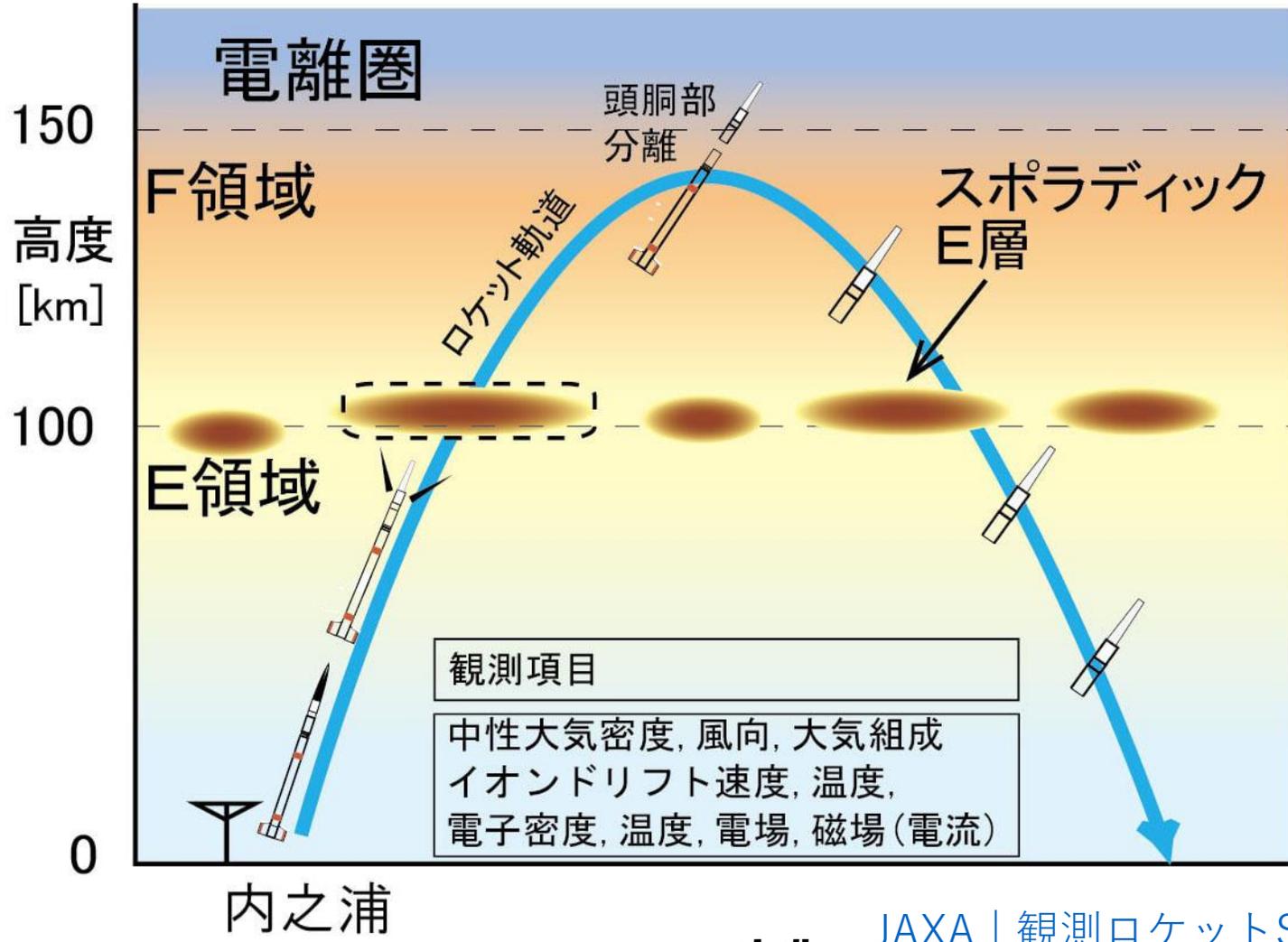
観測ロケット S-310-46号機 観測実験

[中緯度域電離圏におけるスポラディックE層の形成過程の解明]

内之浦上空の高度90～130kmにおいて、中性大気・プラズマ大気・電場・磁場の直接観測を行い、昼間の中緯度域電離圏におけるスポラディックE層の形成過程を解明することを目的とします。

本実験は、中性大気・プラズマ大気の主要な全ての物理量を直接計測する初めての試みとなります。

※スポラディックE層：地上からの高度約90km～130kmの電離圏E層内に出現する、プラズマ密度が局所的に高くなっている領域。



実験期間
2025年7月8日(火)
～2025年8月31日(日)
(予備期間含む)

実験予定日
2025年7月8日(火)
12:00～13:00
(日本標準時)
※時刻は24時間制表記

実験場所
内之浦宇宙空間観測所
(鹿児島県肝属郡肝付町)

搭載観測機器(略称)
イオンドリフト速度測定器(IVA)
電場計測器(EFD)
中性大気密度・風計測装置(IOG)
インピーダンスフローブ(NEI)
中性大気質量分析器(NMS)
磁場観測装置(MAG)
ラングミュアフローブ(FLP)

出典：[JAXA | 観測ロケットS-310-46号機実験の実施観測ロケット](#)